

平成 25 年度第 1 回青森市子ども・子育て会議（会議概要）

- 1 開催日時 平成 25 年 9 月 14 日（土）9:30～11:30
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3 階 大会議室
- 3 出席委員 赤平怜子 委員、天内博久 委員、五十嵐容子 委員、
一戸倫子 委員、伊藤えり子 委員、今村良司 委員、
内海隆 委員、大村育子 委員、工藤研一 委員、
久保田正美 委員、佐久田今日子 委員、佐藤えり 委員、
柴田園子 委員、清野千世子 委員、橋本歩 委員、
宮崎秀一 委員、山田孝憲 委員（五十音順）
- 4 欠席委員 葛西義明 委員、工藤協志 委員、鈴木亙 委員（五十音順）
- 5 事務局出席者 健康福祉部長 赤垣敏子、健康福祉部次長 貝森敦子、
子どもしあわせ課長 舘山新、健康づくり推進課長 里村誠司、
浪岡事務所健康福祉課長 山口朋子、子どもしあわせ課副参事 小倉信三、
子どもしあわせ課主幹 土岐志保、子どもしあわせ課主幹 太田直樹、
子どもしあわせ課主幹 竹内巧、子ども支援センター所長 高坂道子、
子どもしあわせ課主査 駒ヶ嶺祐、子どもしあわせ課主事 小野寛史
- 6 会議の要旨
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 市長挨拶
 - (4) 委員紹介
 - (5) 事務局紹介
 - (6) 議事
 - ①会長及び副会長の選出について
委員の互選により、会長に内海隆 委員、副会長に伊藤えり子 委員を選出。
 - ②子ども・子育て支援新制度について
事務局から資料 3 について説明。質疑応答なし。

③青森市子ども・子育て会議の役割について

事務局から資料4について説明。質疑応答なし。

④青森市子ども・子育て会議開催スケジュールについて

事務局から資料5について説明。質疑応答なし。

⑤青森市の子ども・子育て支援施策の取組状況等について

事務局から資料6について説明。

○委員

幼稚園の預かり保育の実施割合を教えて欲しい。

○事務局

正式な調査は行っていないものの、市で取りまとめた集計からすると、全ての幼稚園で実施している。

○委員

青森市地域子育て支援連絡協議会では、地域子育て支援拠点事業のひろば型に近いイベントを開催しているが、この活動以外にも、資料6に掲載されていない活動が随分ある。

また、青森市は子育て環境が充実しているが、市民がそれに気付いていないと感じている。

○事務局

資料6は、市が行っている事業全てを網羅しているわけではない。今回の計画の中で、委員の皆様には審議をお願いしなければならない主なもの、またその概要のみをピックアップしたものである。

⑥意見交換

○会長

会議への要望、委員を引き受けた理由等を1人ずつお話ししたい。

○委員

児童館の事務と指導員の指導を行ってきたこれまでの実績を意見として出したい。

○委員

子育ての量よりも質を向上させることに尽きるのではないか。そのためには、例えば、従事する方の専門性及び待遇を向上させる必要があるのではないか。

○委員

産前・産後の支援をしている。その中で気付いたことをお知らせしていきたい。
また、青森市にもっと子どもが増えて欲しいと思う。

○委員

親も子ども自然の中に溶け込んだ体験が足りないと感じている。自然の中で生きていけるような手助けができたらいいと思っている。

○委員

育児の当事者の目線に立った取組を期待して、お手伝いさせていただく。

○委員

自分の子育て経験の中で役に立つことがあれば頑張りたい。

○委員

新米ママという視点、県外出身者という視点で、この会議に臨みたい。

○委員

青森市に子ども・子育て会議を設置することをとても嬉しく思っている。地域の実情にあった子ども・子育て支援を当事者の視点から提案したい。

また、子育て支援の情報を一元化するのに横のつながりが大事だと思うので、そのために、民間の方からお力添えできることがあれば力を尽くしていきたい。

○委員

県内 40 市町村の中で、青森市は子ども施策について積極的にやってくれていると思うが、さらに加えて、青森市の子育て環境についてこの会議で提案し、実現させたい。

○委員

子どもの教育に視点を当てた取組や、小学校と幼稚園の連携等について、この会議の中で話し合いたい。

○委員

青森市には優れた自然と、子育ての力があるということを発信していくことが我々に課せられた問題である。

10年後、20年後の青森市に住む子どもたちが、笑顔で暮らせるための制度づくりを考えていきたい。

○委員

認可保育所とは利用の仕方が異なる託児所としての視点からお手伝いできればと思っている。

○委員

イベントの内容を情報として流せば、利用しやすいのではないか。

子育て支援がオープンになって、たくさん子どもや親に届けばいいと思って、意見を出していきたい。

○委員

認定こども園になっていない幼稚園は、これからどの類型で進んでいくのか悩んでいる。

より良い情報を得たいと思っている。

○委員

10年近く子どもたちを見ている中で、気になる子どもが増えてきていると感じる。

また、子どもが病気にかかっても仕事を休めない保護者もいることから、病児一時保育所を増やして欲しい。

○委員

認可外保育所は、お母さんたちにとって駆け込み寺のような役割を果たしている。お母さんたちが安心して働けるように、そして、子どもの幸せのために頑張りたい。

○会長

委員の皆様には、定期的に、御自身で会議に関わる内容を考える日を設けていただき、それを会議で吐き出してもらいたい。それをまとめるのが私と事務局の役目だと思っている。全員参加型で会議を進めて行きたい。

(7) 閉会